



大原 広巳 議員

人・農地プランの策定は？

町長

さらに推進する



収穫を待つブロッコリー

【大原】現在の人・農地プランの策定状況は。

【町長】平成25年11月末現在で、160集落のうち12集落が策定している。そのなかで地域の中心となる経営体は4法人を含む17人で、その経営体への協力者は52人である。

【大原】策定が進まないのはなぜか。

【町長】他町と比べて認定農業者数も多く、す

でに自主的に農地の集約が進んでいるためである。

【大原】近隣集落との連携は。

【町長】担い手のいない集落との複数連携プランもあり、推進していく。

【大原】今後はどのように事業を推進するか。

【町長】県の農地集積バンクなどと連携していく。

婚活事業の今後は？

町長

継続していく

【大原】婚活事業の現状は。

【町長】平成24年度は、5団体が6回のイベントを行い、184人の参加であった。平成25年度は、11月末現在で2団体が2回のイベントを行い、30人の参加であった。

【大原】イベント実施が減った理由は。

【町長】企画立案のむずかしさや、カップルはできても結婚まで結びつかないなど、実績があらがないためである。

【大原】まちづくり地区会議などと連携してはどうか。

【町長】地区会議のなかに婚活部会などを組織し、若者が企画立案す



さらなる出逢いの場を

るイベントも考える。そのなかで出会いがあれば

それもよい。今後も支援事業を続けていく。